

## 「一流百貨店でも手に入らないフラワーインテリアのひみつ」

しなやかにツルが絡んだ素敵なリース、すっとのびた白樺の枝先が美しいアレンジ、稲穂が揺れるザックリ束ねたスワッグ。どれも動きと味わいのある素敵なインテリアの代表格です。しかし市販にはほとんどありません。

その理由は売り手側の都合。専用の箱が存在しないからです。箱があり、破損心配なく流通するものだけが市販に出回ります。

水からも器からも解放された花たちはインテリア性も高く、自由に創造すれば、作り手によってカタチが違い、アトランダムにズレが生じるのはあたりまえ、同じ素材もその位置でひとつでフォルムがかわります。だからこそ唯一無二の風貌が価値を生み、深い味わいになるのですが、。

ケースをつくれればコストがかかり、見合う価格を維持できないのが現状なのです。

このように流通販売は箱ありきの世界。言い方をかえれば市販のフラワーアレンジは箱にあわせて、収まるサイズに作られているといえます。

足元隠しの花材も緻密なコストが計算され、少なくとも済むようどれもキュツとしたもの、カチツとしたアレンジが大半です。結果、判で押したような花ばかりが流通します。

街ではそういう花ばかりを見ているので、一般の人はなにも疑問に思わないのでしょう。

でも、みなさんは気づいているはずです。のびやかでナチュラルな世界観の魅力。ふんわりと花が心地よさそうにしているアレンジがあることを。これらを自分のものにできる人は限られた人だけです。ぜひ私たちの手からその素晴らしさを発信しましょう

一流百貨店も販売さえ叶わない。手作りした人だけのスペシャルなメリット

**魅せるフラワーインテリアは。手づくりする人だけの最高のアドバンテージ**

**といえます。**これが一流百貨店でも手に入らないおしゃれインテリアのひみつなのです。

アトリエレモンリーフの生徒さんが教室で作られた作品を飾っていると、いらっしゃるお客さまが「どこで買ったの？」とよく聞かれるんですよという話をしてくださいました。そんな風に言っていただけなんて、うれしいですね！ご自身でつくとインテリアへの思いも格別です。

教室から生まれた素晴らしいインテリアは、生徒さんのご自宅を魅力たっぷりに演出してくれます。

一緒に、たくさんの素敵を発信していきましょう

## 「早い・簡単・綺麗に作る法」

水のいらないフラワーアレンジは、ワイヤリングも、テーピングも、ひとたび先生が変われば、あるいは教本がかわれば、技法が違うことは日常茶飯事です。なぜこんなことがおこるかという点で継承を礎にする伝統の華道と違い、クラフト的要素の強いからです。歴史も浅く、プリザーブドもアーティフィシャルも、ドライも切ったり、貼ったり、やり直し自在の工作ともいえます。

ご存じの方もふえたプリザーブドフラワーも、その開花法に至っては、ここ数年で何通り公開されています。もしかしたら、これから新しい開花方法がまた開発されるかもしれません。出たばかりのころ、宝石をあつかうように手袋をして扱っていた先生もいらしたプリザーブドフラワーでしたが、今では茎のうしろから竹串をさして、さっさとディスプレイをする先生もいらっしゃいます。

結論からいうと、ハンドメイドは最終的にどんなものができるかが重要で、どう作るかは各自の采配です。

カレーをつくるのに人参を輪切りにしたものをまとめて、いちよう切りにするか、縦に1/4本にしてからいちよう切りにするかはどちらでもよく、カレーをおいしく食べて満足すれば問題ないのと同じです。

その上現代では、素材や道具はどんどん進化しています。習った制作工程がいつのまにか古いやり方というも当然ありえます。なので、**最初の方法に固執する必要はないというスタンスが大切です。基本的に個人の自由。その人がやりやすい方法が一番です。**

ハンドメイド教室は時代とともに、どんどん技法がかわるものと、とらえましょう。創造の自由度がぐんとアップします。。では、**なにを基軸に選べばよいのか？それはまず次の3つ。「早い・簡単・綺麗」これがベストです。綺麗とはバック処理などもきちんとという意味も含みます。**

自分の中で臨機応変にスイッチしていけること、これは進歩にもつながります。技術があるということは、ひとつのことに卓越することもさしますが、いらないものを捨てることも、技術があればこそできることではないでしょうか。

そして、人が集中して作ることを楽しめる時間はおよそ2時間が限界。それ以上は疲れてしまいます。いかに効率よく、的を得た下準備を簡単にして、創作を楽しめる時間を多くするかを考えましょう。特にフラワーアレンジは、準備がすんで、花の配置を考える時間こそわくわくしますね！

アトリエレモンリーフのレッスンはそこにたっぷり時間をかけられるように構成しています。ハンドメイド好きは、だれもがプチ職人です。

ある生徒さんからこんなメールをいただきました。「先生のレッスンはいい意味で「いい」加減な教授方法だと思います。

大きな失敗に繋がる基本は押さえて、それ以外は生徒のアレンジに少し手を加えていくだけなので 生徒は自分のアレンジという満足感があります。」

他の生徒さんからは「先生の教室での指導はポイントや大切なところはしっかり教えてくださり、かつ、それ以外のところは、いい意味で適当（按配）で自由なので、自分で作ったような気になります。もちかえって堂々『わたしが創ったの〜!』と言えると思います」

ハンドメイドを楽しんでいただきたいたいと願っていた私にとって とても嬉しいメッセージでした。

レッスンで心がけているのは、2時間という枠の中で、必死にお手本に従うのではなく、生徒さんも創造の作り主として 自分の表現を楽しんでいただくことです。

完成作品だけではなく、作る時間がたのしい！下準備は本当に必要なことだけでいいんです。「早い・簡単」そして「綺麗」をじっくり、創造の時間を存分に味わえる教室を展開していきましょう！

スキルも素材も日進月歩、情報を共有していっしょに更新してきましょう！

アトリエレモンリーフ 影山さちこ